

2026年3月3日

## 丹青社、オーガニックコットン端材をアートに 再生する4社共創のプロジェクトを始動 ～アートの販売を2026年3月3日よりECサイトで開始～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：小林 統／以下「丹青社」）は、株式会社セイコーエプソン（本社：長野県諏訪市／代表取締役社長：吉田 潤吉／以下「エプソン」）、株式会社 NOMAL（本社：東京都中野区／代表取締役：松本 祥太郎／以下「NOMAL」）、IKEUCHI ORGANIC 株式会社（本社：愛媛県今治市／代表取締役：阿部 哲也／以下「IKEUCHI ORGANIC」）との共創による新たなサステナブルアートプロジェクトを始動します。

本プロジェクトは、4社の共創により、ものづくりの工程で生じる端材や余剰素材に新たな価値を見出し、アーティストの表現とテクノロジーを掛け合わせることで創造へとつなげるアップサイクルを目指したプロジェクトです。



使用する生地によってパネルやアートの印象も変化する

### ■ プロジェクトの概要

今まで処分されていた、オーガニックコットンタオルの製造過程で発生する端材を、水をほとんど使わず繊維化できるドライファイバーテクノロジーを用いて、オーガニックコットンの繊維に由来する“一点物のテクスチャー”を持つパネルへ再生し、そのパネルにアーティストの作品を高精細プリントで表現した“一点物のアート”を制作。アーティストの感性を組み込んだアートへアップサイクルしています。

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：[pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp)

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

アップサイクルプロセスのイメージ



※実際の制作過程の写真ではありません

丹青社とエプソンが参画する「未来のオフィス空間」の実現を目指した実証実験の空間でもあるワーキングスペース「point 0 marunouchi」での共創活動を端に発した本プロジェクトは、アートに関する実証実験を重ねてきた丹青社と、ドライファイバーテクノロジーを持つエプソン、さまざまなアーティストとのネットワークを持ち、EC サイト「WASABI」を運営する NOMAL、オーガニックコットンタオルを製造する IKEUCHI ORGANIC が連携して推進してきました。

今後も 4 社は連携を強化し、よりサステナブルで魅力あるものづくりモデルの構築を目指してまいります。また、丹青社としては、今後は個人向けを中心としたアートとしての拡大だけではなく、オフィスなどをはじめとする当社が手掛ける空間づくりでの活用についても検討していきます。さらに、さまざまなものを繊維化し、分解することができるドライファイバーテクノロジーの持つ特徴を生かし、衣類や紙といったさまざまな素材を空間づくりの要素である家具や什器、建材へとアップサイクルする取り組みについても検討してまいります。

■ 販売について

販売開始：2026 年 3 月 3 日（火）

EC サイト：「WASABI」 (<https://wasabi-nomal.com>)

※今後アーティストラインナップやバリエーションなどの詳細は、EC サイトおよび公式 SNS にて順次発信予定。

■ プロジェクト参画企業

丹青社 <a href="https://www.tanseisha.co.jp">https://www.tanseisha.co.jp</a>	企画、総合プロデュース
エプソン <a href="https://www.epson.jp">https://www.epson.jp</a>	ドライファイバーテクノロジーによる繊維化・パネル制作 ※解繊およびパネル制作の協力：株式会社インクスシナノ
NOMAL <a href="https://nomal.jp">https://nomal.jp</a>	アーティストプロデュース、三次加工（商品化）、商品販売
IKEUCHI ORGANIC <a href="https://www.ikeuchi.org">https://www.ikeuchi.org</a>	材料提供

リリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 丹青社

広報室 担当：石綿、寺戸

Tel：03-6455-8115 Mail：[pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp)

お問い合わせフォーム：<https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

## ■ 丹青社 マーケティング・サステナビリティセンター長/執行役員 木曾裕美子 コメント

空間デザインを生業としている当社は、新しいものをつくりあげる中で環境への負荷を低減するだけでなく、他の企業が持つさまざまなサステナビリティに関する技術や知見とクリエイティビティを掛け合わせることで、新しい価値を生み出すことも求められていると考えています。

今回の取り組みでは、エプソンが持つドライファイバーテクノロジーを活用することで、廃棄物削減や水をほとんど使わないといった環境負荷低減を実現するだけでなく、唯一無二のテクスチャーをアートにもたらしめています。まさにサステナビリティに関する技術とアイデアの掛け合わせによって実現した、共創だからこそできた取り組みだと感じています。今後は、入口となる材料、出口となるプロダクト・制作物の幅を広げ、空間づくりを中心としたさまざまな活用を模索していきます。



### ■ 丹青社について

「こころを動かす空間づくりのプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

社名 : 株式会社丹青社  
所在地 : 〒108-8220 東京都港区港南 1-2-70  
品川シーズンテラス 19F (本社)  
創業 : 1946年10月  
資本金 : 40億2,675万657円 (2025年1月31日現在)  
上場 : 東京証券取引所プライム市場  
(証券コード: 9743 / 業種名: サービス業)  
URL : <https://www.tanseisha.co.jp>



かさねよう、丹青 いろどり

### ■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社丹青社 広報室 担当:石綿、寺戸 Mail: [pr-staff@tanseisha.co.jp](mailto:pr-staff@tanseisha.co.jp) Tel: 03-6455-8115  
お問い合わせフォーム : <https://www.tanseisha.co.jp/contact/pr>

※ニュースリリースに掲載された内容は発表日現在のものです。

その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。